

# 緑の地球

## GREEN EARTH

地球環境のための国境をこえた民衆の協力



大同市天鎮県趙家溝郷で子どもたちと一緒にマツを植える。

### Contents

- 緑の地球ネットワーク第19回会員総会のご案内 … P 2
- 尾池公使が大同を視察 …………… P 2
- 春のワーキングツアー写真報告 …………… P 4
- 夏の黄土高原ワーキングツアー参加者募集 …………… P 6

2013.5

151

認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク



## 緑の地球ネットワーク 第19回会員総会のご案内

2012年、日本と中国は尖閣諸島をめぐる問題でお互いの国の感情が悪化し、現在も改善の兆しがみえません。そんななか、今春のツアーに参加したメンバーから「報道されている中国とまるで違った。自分の目でこの国を見られてよかった」という声が聞かれました。こういう時期だからこそ、政治関係に左右されず民間の交流を続けることの大切さを強く感じています。これからもみなさんと一緒に信頼関係に基づいた協力の輪を広げていきたいと思えます。ぜひ総会にご参加ください。

### 【緑の地球ネットワーク 第19回会員総会】

- 日時：6月15日（土）
- 記念講演：13時30分～15時 『人と森のかかわりを考える』（仮）
- ◇講師：桜井尚武さん（元日本森林学会会長、GEN顧問）
- 会員総会：15時20分～16時40分
- 場所：大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室（大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階 tel.06-6345-5000 JR「大阪」駅／「北新地」駅、各線「梅田」駅下車）
- 会員総会終了後に懇親会を行ないま

す。  
◇会場：咲くら 北新地本店  
◇参加費：4,200円  
◇申込み：6月11日（火）までにGEN事務所まで。会員以外でもご参加いただけます。

## 尾池公使が 大同を視察

在中国日本大使館の尾池厚之公使（経済部長）が3月27日夜に大同にこられ、29日の朝、北京に帰られました。実質1日だけでしたが、私たちの協力プロジェクトの緑の地球環境センター、采涼山プロジェクト、実験林場カササギの森と、外務省草の根無償資金協力によって井戸を掘った遇駕山村を訪れました。この協力事業が20年以上も継続し、地元の人たちと良好な関係を築いていることを高く評価してくれました。（高見）



## 中国の専門家が 南天門自然植物園を 視察

中国林業科学研究院の陳幸良副院長、北京林業大学の趙廷寧、張建軍両教授が3月末に大同の私たちのプロジェクトを訪れました。緑の地球環境センターをみたあと、靈丘県の南天門自然植物園を視察しました。陳幸良副院長は初日は日陰斜面でナラ、シナノキなどの落葉広葉樹がよく育っているのを熱心にみたあと、翌日は植物の育ちにくい日向斜面でも植生が回復しつつあるようすをみて、「これだけ植物種が多いところは、中国北部ではとても珍しく、貴重だ」と語りました。南天門自然植物園を今ノ

## びっくり、メガソーラー

大同から渾源にむかう道の両側に塩害地が広がっています。作物はなにもつくれず、何度も何度も街路樹を植えています。活着することはありませんでした。春先は土の表面が真っ白になります。

そこにこの春、見慣れないものが。ソーラーパネルです。56.6haという広大な土地に、ものすごい数。建設しているのは保利・協鑫集団で、1期のいまは20MW、年間の発電量は2678kWhの予定だそうです。いまのところ中国でも最大規模とか。

投資額は2.2億元。1期が稼働しはじめると、1年間に石炭8100tを節約でき、CO2を22108t、SOxを168.4t、NOxを57.1t削減できると書いていました。5期まで計画があり、最終的には300～500MWになるそう。



日本のことが気になってネットで検索すると、ソフトバンクが鳥取県米子市で建設しているソーラーパークが日本で最大規模で42.9MWで、年間発電量が4527万kWhだそうです。

保利集団は軍関係の企業で、不動産やインフラ整備を担当しているよう。協鑫集団は香港発のソーラーパネルのメーカーです。パネルを造って売る企業がどうして自分で設置しているのでしょうか。メガソーラーで発電した電気でも多結晶シリコンをつくり、それでパネルをつくる計画のようで、循環型産業との説明もありました。

山西省発展改革委員会のOKがでたのが2012年8月10日、国のエネルギー局に批准されたのが8月17日。冬は工事のできないところなのに、このスピード。

風力発電では、中国は2010年にアメリカを一気に抜き去り、世界トップに躍り出ました。大同でもすごい勢いで風力発電が増えていきます。カササギの森の奥の稜線でも20基ほどが回り始めました。風力発電につづいて、太陽光発電にも本腰で力を入れるのでしょうか。（高見）

## いますぐできるGENへの協力

### ■会員の輪をひろげよう！

緑の地球ネットワーク会費（年額）  
一般会員12,000円  
家族会員（同居の家族2人目から）  
6,000円

学生会員3,000円  
ジュニア会員（中学生以下）1,000円  
団体会員12,000円  
賛助会員100,000円  
※会費は会報購読料を含んでいます。

### ■会報を購読してください！

GENの活動に関心はあるけれど会員になるのはちょっと、という方は、会報『緑の地球』を購読してみませんか。年間購読料2,000円。

### ■緑化基金、運営カンパもとむ

金額は自由です。GENへの寄付は、寄付控除の対象となります。また、緑化基金、運営カンパの別を問わない用途自由のご寄付も受け付けます。その場合、必要に応じて使わせていただきます。

\*緑化基金の20%は事務管理費になります。

### ■絵はがき『黄土高原の花』

8枚組・300円（送料別途。5セット以上送料無料）

### ■書き損じはがきを集めています

書き損じはがき、古い未使用のはがきを集めています。通信費にあてます。

### ■未使用切手・古切手を集めています

普通切手、記念切手、外国切手なんでもOK。古切手は周囲を1cmほど残して切り取ってお送りください。

### ■ボランティア募集

会報発送や事務所の手伝いなどのボランティアを随時募集しています。ボランティア可能な曜日、時間帯をご連絡ください。来ていただきたいときにGEN事務所から連絡します。

### 【GENへの寄付は税制上の優遇措置を受けられます】

緑の地球ネットワークは国税庁長官

に認定された認定NPO法人です。（期限は2014年5月31日まで）。

GENへの寄付は、所得控除あるいは税額控除を受けられます。対象となるのは2,000円を超える寄付金で、確定申告が必要です。

企業（法人）からの寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額とは別枠の損金算入限度額が認められています。

また個人が相続または遺贈により取得した財産を、相続税の申告期限以前に認定NPO法人に寄付すると、相続税の課税対象から除外されます。

GENの場合寄付金となるのは、緑化基金・運営カンパ、おまかせカンパと会費のうち1口を超える部分、賛助会費から12,000円をひいた金額です。

大阪市民のかたは市民税控除が受けられます。くわしくはお問合せください。

## 報告 ハッピーアースデイに参加して

向井 美香（GEN会員）

3月23日～24日、久宝寺緑地公園でアースデイが開催され、GENはNPO活動紹介コーナーに参加。私は24日にお手伝いし、花と緑と近くのブースから漂ってくる揚げたてドーナツの甘い香りにつつまれ、ほっこりした春の一日を満喫しました。

木々のあいだに食、フェアトレード、アート、エコ、手作り、海外支援などをテーマにしたブースが100店ほど軒を連ね、なかにはシイタケの菌打ちやヨガ、べんがら染織といったワークショップも。緑地という場所柄、幼児を連れた家族連れや散歩中らしき高齢者も多く見うけられました。開場してすぐ、テント外側にかけた

南天門自然植物園のパネルに見入っていた女性2人を東川さんがキャッチ。熱く語る東川さんの話に半時間ちかくも聞き入っていました。夏のツアーに参加…されるといいなあ。

いろんな人が立寄ってくれましたが、なかでも印象に残っているのはアフガニスタン難民だという男性。雲崗石窟の写真をじーっと見つめ、「ぼくの国にはもっと大きな仏像があった」とポツリ。パーミヤン大仏が爆破されるすこし前に日本に来られ、以来一度も帰国できないまま。アンズの木の写真もなつかしい風景だったらしく、故郷カブールの話などをしていかれました。

もうおひよりは毎日自転車で近隣

ノ後も発展させていくために、協力してもらおうと考えています。北京林業大学の教授は「学生の演習の場として

もってこいだ」と評価しています。南天門の価値と利用をより大きく広げたいと思います。（高見）



をめぐり、世界が平和であるよう祈願しているという男性。少林寺拳法を学んでおられ、河本さんをモデルに気を送る実験。吹っ飛ばされるんじゃないかとドキドキしましたが「手を構えた胃の辺りがビリビリした」という軽いもの。少し残念…?!

売上げはぼちぼちでしたが野外で開放感があるせいかお客さんと距離が近く、草の根交流はしっかりできたのではないのでしょうか。太田さん、鶴田さん、松井さん、宮本さんも朝早くからお疲れさまでした。

アースデイは秋にも開催されるとのこと。つぎはみなさんも参加してみませんか？



# 春のワーキングツアー写真報告

今年の春は GEN 春の黄土高原ワーキングツアー（4/6～4/12、16名）、イオンリテールワーカーズユニオン・サントリー労働組合合同ツアー（4/8～4/13、11名）が大同を訪問し、緑化活動に参加しました。写真で GEN のワーキングツアーのようすをご紹介します。



（写真左）はじめに霊丘県の南天門自然植物園を訪れました。午前は植樹作業、午後は上まで登って春の黄土高原の景色を楽しみました。

（写真右）2日目は渾源県呉城村のアンズ畑を見学。農家でおいしいお昼ごはんをいただきました。



（写真左）3日目からはイオンリテールワーカーズユニオン・サントリー労働組合の団も合流し、人数が増えてにぎやかに。渾源県西坊城鎮で村のひとたちと一緒にマツの植樹をおこないました。子どもたちもお手伝い。



（写真上）西坊城鎮でのマツの植樹作業のあと、塩害地での新しい取り組みとしておこなっているキノコとトマトのハウス栽培場を見学しました。



（写真左）山西省といえば刀削麺が有名。大同最終日のお昼にいただきました。



（写真上）植樹作業を終えたあと、みんなで記念撮影。

（写真右）4日目は緑の地球環境センターでマツの植樹作業をおこないました。冷たい風が吹くなかでしたがみな休むことなく働き、2,466本の苗を植えました。



（写真左）大同最終日、午前は雲崗石窟を見学し、午後は新しくできた城壁に登り、景色を楽しみました。ここで急ぎょ城壁の上で通訳の唐さんの太極拳講座が始まりました。見よう見まねは難しかったものの、ひろびろとした城壁で体を

動かし、すがすがしい気分を味わいました。

## 報告 「百聞は一見にしかず」を体感

長谷川 美雪（イオンリテールワーカーズユニオン）

大気汚染・日中関係の悪化が度々報道され、出発直前には鳥インフルエンザの発生。周囲が心配するなか、4月7日から13日の7日間、イオンリテールワーカーズユニオンとサントリー労働組合の11名が、合同では6回目となるワーキングツアーに参加しました。

私は参加するにあたり、「百聞は一見にしかず」というテーマをきめていました。こういう時期だからこそ、偏見をもたず今の中国を自分の目で見て、自分で体感してこようと思いました。

このツアーでは、植林活動だけではなく、各訪問地でのプロジェクトにかかわる人たちとの交流も大切な要素です。そのひとつとして、天鎮県の寄宿学校の子供たちと一緒にマツを植え

ました。はじめは私が子供たちを引き連れてやっていたはずが、私が疲れてくるとスコップでの作業を代わってくれたり、つぎの場所を案内されたりと、だんだん面倒をみてもらう立場に逆転していました。交流の中で子供たちが楽しそうにしているのを見ると、この体験が日本人に対して良い感情を持ってもらえるようになったら嬉しいなと思いました。

将来の中国を担う子供たちがすこしでも緑の大切さを知り、環境問題にふれ、関心を持ってくれたらと思います。それが緑化活動の継続にも繋がっていくのではないかと思います。

20年というながい期間継続している GEN の活動に私たちの先輩がたがイオ

ン17年、サントリー15年と継続して参加しているのを今回初めて知りました。中国の緑化活動とともに、私たち参加者の心の成長にもなると感じ、今後10年後、20年後にも継続できるような協力していきたいです。



## 報告 自らの成長につながった一週間

高谷 充郎（サントリー労働組合）

見渡すかぎりの乾いた大地、深く荒あらしい浸食谷、レンガ造りの貧しい

民家。初めて訪れた黄土高原には私が想像していたよりも広大で厳しい世界が広がっていました。



黄砂が吹き荒れるなか、硬い黄土に穴を掘り苗木を植える作業を繰り返すと数時間後には激しい疲労感がおそい、活動の大変さが身にしみました。それでも私たちが経験したのは緑化活動のほんの一部であり、植樹後の管理では苦勞がたえないと聞きます。その苦勞を乗り越え、GENを

中心としてその活動に携わるかたたち、私たちの先輩がたが活動を継続し、植えた木は21年間で実に1,800万本と途方もない数字に上ります。活動にあらためて尊敬の念を抱くとともに、未来の地球のために活動の継続が本当に大切なんだと思います。

そして、現地のかたたちと言葉は通じずとも、心の交流ができたことにすばらしい経験をしました。県の幹部との交流会では、白酒を何度も何度も飲み交わし、肩を組んで『朋友』の合唱。国境を越えてお互いの心と心が通じ、好朋友になれた瞬間でした。なかには、涙を流して別れを惜しむかたも。小学校に訪問した際は、無邪気な子どもたちと触れて心が暖かくなったと同時に、

貧しいなかでも笑顔絶やさない子どもたちから「幸せ」について考えさせられました。将来、彼らがこの日の交流を忘れずに日中間の架け橋になってくれることを願っています。

このセミナーを通じて、「継続することの大切さ」「活動にける思い」人間としての根源的な「生きること」「幸せ」など、さまざまなことについて

て考えさせられました。普段の生活・仕事環境から離れ、あたりまえがあたりまえでない世界に身を投じることで、多くの気づきを得ることができた濃厚な一週間だったと思います。この活動で感じたことを伝え広げて大きな輪にしていきたいですね。

また、日中間の政治レベルの関係は厳しくなっていますが、民間レベルの

活動は違って、少なくともこの活動を通じた日中のつながりは太く強いものだと感じることができました。このセミナーに参加する機会を得られたことに心から感謝しています。

出会ったかたがたと再会することを願って、ガンペー！

参加者募集

# 2013 夏の黄土高原スタディツアー

今年の夏は大同で緑化活動に参加しませんか。村のひとたちと一緒に木を植えるほか、あざやかな高山植物の花ばなを楽しんだり、農家でごはんをごちそうになったりともりだくさんの内容です。また、西安での研修を終えた学習院大学の学生や、立教大学の学生も北京で合流する予定です。

多くの学生に参加してもらうために使ってくださいと寄付をいただいたので、学生は参加費用を割引します。こ

の機会をどうぞお見逃しなく！

- 日程：8月24日(土)～30日(金)
- 費用：一般169,000円、学生149,000円(国際航空運賃、中国国内の交通費/宿泊費/食費を含む。年会費〈一般＝12,000円、学生＝3,000円〉、燃油特別付加運賃、空港使用料、旅券取得費用、個人でかける旅行保険料、個人行動時の費用は含まない)

※関西空港発着。中国国際航空利用

※羽田便利用希望のかたはご相談ください。

- 訪問先：中国山西省大同市(北京経由)
- 定員：35名程度
- 最少催行人数：12名
- 申込み締切り：7月17日(水)(先着順)

☆参加ご希望のかたはまず GEN 事務局までご連絡ください。申込み書類の準備ができましたら(株)マイチケットからお送りします。

参加者募集

## GEN 自然と親しむ会 くつきで一泊 自然観察と植物の初歩を勉強

森林公園くつきの森は、高島市朽木麻生の標高約200mから400mに位置する約150haの森林で、かつてのホトラ山や針葉樹の人工林が大部分を占める自然豊かな森を形成しています。

1979年「朽木・自然研究所」(通称「朝日の森」)が開設され、森と人とのいい関係について探るため、森林保全の啓発や研究がすすめられてきました。

2003年、高島市へ引き継がれ、現在はNPO法人麻生里山センターが管理して市民が森の恵みを体験し保全の大切さを学ぶ場などとして活用されています。

今回はくつきの森の森林環境研究所の所長であった海

老沢秀夫さんにハイキングをしながら森と里山の暮らしなどを紹介していただきます。また、前中久行さんにハイキングをしながら、植物の興味深

いお話をさせていただきます。夜には植物などについて語り合しましょう。

- 日時：7月6日(土)12時から7日(日)12時ごろまで(1泊2日)
  - 集合：JR湖西線安曇川駅前
  - 場所：滋賀県高島市くつきの森
  - 案内：海老沢秀夫さん(予定)(NPO法人麻生里山センター) 前中久行さん(GEN代表)
  - 持ち物：ハイキングのできる服と靴、帽子、雨具、宿泊用着替え・洗面具等、7日朝食の主食
  - 参加費：8,500円(1泊1.5食分食費、安曇川ーくつきの森間の車分乗費、保険料等を含む、安曇川までの交通費は各自負担)
  - 宿泊：くつきの森やまね館(男女別相部屋、2段ベッド)
  - 申し込み：6月20日までに GEN 事務局へ
- ※大雨の場合中止、小雨・中雨の場合は実施します。大雨・豪雨の場合はお問い合わせください。



黄土高原史話<63>

### 定州大道 500 余里

谷口 義介 (GEN 会員)

山西省における GEN の緑化協力プロジェクトのうちもっとも価値あるものを一つ選ぶとすれば、それは靈丘県の南天門自然植物園、と。詳しくは、本誌の前々号・前号を参照あれ。

私事ながら、99年夏・01年春・02年春・04年夏の4度、ワーキングツアーに。

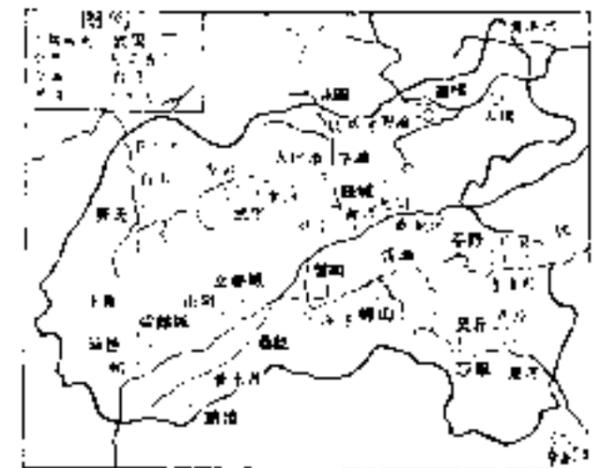
大同市内を発って、まっすぐ東南方向に進路をとり、桑干河を渡り、渾源県城を過ぎ、恒山(標高2,016m)の西麓をかすめて、おおむね唐河に沿って走り、靈丘県に入ったあたりで初めて東に向きをかえ、県城を出てからふたたび東南方向に転じ、さらに行って唐河と上寨河の合流地点で唐河を離れ、今度は上寨河沿いを南西に少し行くと、そこが上寨鎮南庄村。しかし今回このルートをたどったのは、ここ南天門自然植物園での植林活動のためではありません。

唐河と上寨河の合流点で南西に折れるのではなく、そのまま唐河に沿って東南に向かうと、ほどなくして河北省。さらに行くと、唐河は西大洋ダムに流れ込むが、その先もう少しのところに定州市が位置します。つまり、大同市内からスタートして、ここが今回の目的地。それというのも、今を去る1616年前の397年、北魏によって定県(定州)にあった後燕の都中山が陥落し、翌398年、中山から大同盆地に至る500余里の「直道」が開かれたから(前々回・前回参照)。

396年8月、のちの道武帝=拓跋珪は、同じ鮮卑族ながら拓跋部とは別系統の慕容部が建てた後燕を伐つべしと、六軍40万余を従えて、当時の都盛楽(内モンゴル和林格爾)を進発す

る。そのうち將軍封真らの三軍は、東行して河北に入り、上谷(北京の北)から南して薊(北京)を囲む。いっぽう、珪みずからは主力をひきいて山西を南下、馬邑(朔州)から句注の峠を越えて、晋陽(太原)を攻略するや、ここに并州治所(行政府)を設置する。ついで10月、5万騎を先駆けさせて并州から河北に入り、まず真定(石家荘)を降したが、主要3都の中山・鄴(河南省安陽の北)・信都(冀州)が抜けない。そこで珪は持久の策を立て、滹沱河の左右を去来すること数カ月、後燕の慕容宝にたえず圧力を加えたので、たまらず宝は397年2月、全軍を招集して、珪の陣屋に決死の夜討ち。北魏の軍は驚きあわて、珪自身、衣冠もつけずに飛び出すありさま。しかして珪は一計を案じ、本営の外にノロシを焚いて敵の注意をここに引き付け、別の一団をば宝の陣地に突入せしむ。かくて斬首万余級、捕虜4,000余人の大勝利。

その後も各地を転戦するが、河北の平野で見たものは、ヒトの多さとモノの豊かさ。圧倒的な経済的・文化的格差です。ことに鄴に入ってみれば、そこは前燕の旧都とて、なお宮殿・樓閣を築きつらね、また中山には王宮・仏殿そびえ立ち、皇帝玉璽や図書・珍宝、トータル数万にも上ります。



定州の位置と直道の経路

398年1月、拓跋珪の命により、「卒万人を發して直道を治む。望都の鉄関より恒嶺を鑿ちて代に至る五百余里」(『魏書』太祖紀)

つまり、中山(定州)のすぐ北の望都よりして、恒山を切り開き、代郡(平城)に至る幹線ルート、いわゆる定州大道を設けたわけだ。ここを通過して、「山東六州の民・吏および徒何・高麗の雜夷三十六万、百工・伎巧十万余口」が強制移動。むろん膨大な戦利品も、車馬に積まれて平城へと運ばれた。

このあと、太武帝時の436年8月には、「定州七郡一万二千人を發して沙泉道を通ず」(世祖紀上)

とあり、沙泉とは靈丘と渾源の中間の地。

また、孝文帝の482年7月には、「州郡五万人を發して靈丘道を治む」(高祖紀上)

とみえている。沙泉道・靈丘道とも「定州大道」の一部にほかならない。

つまりこのルート、たえず補修がなされたわけだが、それは定州の重要性に起因する。直道先端の定州は河北支配のポイントとて、大部隊が進駐し、治所も置かれて統治に当たった。

### 助成金が決まりました

公益信託経団連自然保護基金の2013年度支援事業として緑の地球ネットワークの「多様性のある森林再生第5期(苗圃の建設と運営)」に245.5万円の助成金が決まりました。

緑の地球環境センターの運営に生かされます。



### 新リーフレットができました

GENの新しいリーフレットを作りました。ご希望のかたにお配りしますので GEN までご連絡ください。日本語版と中国語版があります。



第9回近畿の環境団体情報交流会  
わくわくが社会を変える  
キラリ！環境系NPOフォーラム  
～私たちが目指す明日を見つめ\*つくるために～

近畿各地で活動している環境団体の発表をつうじて、課題や問題をどう克服していくか考えます。

- 日時：6月22日（土）12：30～16：30
- 場所：大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53 京阪電車「中之島」駅徒歩5分）
- 総合コーディネーター：久隆浩氏（近畿大学 総合社会学部教授）
- 参加費（資料代）：一般1,000円、学生500円、エコネット近畿会員500円
- 定員：80名（先着順）
- 主催：NPO法人エコネット近畿／一般財団法人セブン・イレブン記念財団
- 申込み：6月15日（土）までにfaxまたはe-mailでNPO法人エコネット近畿事務局まで（〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14

\*当欄掲載のイベント情報は掲載時点のもので、その後変更になる可能性があります。主催者にお確かめのうえ、ご参加ください。  
\*当欄に情報をお寄せください。本紙は奇数月15日ごろの発行で、締切は前月の末です。なお、紙面の都合により掲載できない場合があります。ご了承ください。

天ニビル4階 tel.06-6881-1133  
fax.06-6949-8288 e-mail:yoyaku@econetkinki.org URL http://econetkinki.org

○問合せ：（株）マイチケットまで  
（tel.06-4869-3444 URL http://www.myticket.jp/Study-Tour-seminar.html）

### いってみよう！もうひとつの旅 スタディツアー説明会

スタディツアーの「生」情報をまとめてチェックできるチャンスです。GENも参加します。

- 日時：6月22日（土）13時30分～17時 【第1部】スタディツアー入門～どんな団体が？どこへ？何を学べる？（14時～15時）【第2部】NGOに直接聞いてみよう～スタディツアー説明会（15時～17時）
- 会場：龍谷大学大阪梅田キャンパス（大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザ・ウエスト・オフィスタワー14階）
- 参加費：無料
- 共催：龍谷大学ボランティア・NPO活動センター／特定非営利活動法人関西NGO協議会／（株）マイチケット

### 小夏とたまねぎ のご案内

土佐の初夏の味をお楽しみください。今年はたまねぎも豊作です。

- ◎土佐小夏
 

A	5kg	4,000円
B	3kg	2,400円
C	家庭用 5kg	2,800円
- ◎たまねぎ（無農薬、有機肥料）
 

白たまねぎ	5kg	1,800円
-------	-----	--------
- ※送料別途 関東840円 関西630円（20kgまで）
- ※売り上げの一部をGENに寄付していただいています。ご注文の際は『GENの紹介』とひとことそえてください。
- 【注文先】田中農園 田中隆一さん  
〒781-7412 高知県安芸郡東洋町河内203 (tel./fax.0887-29-2500 e-mail tanakan3@cronos.ocn.ne.jp)